

授 業 時 間 割 5年前期

平成18年4月3日～平成18年9月29日

月				日	火				日	水				日	木				日	金			
1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4
8:50 ∫ 10:20	10:30 ∫ 12:00	13:00 ∫ 14:30	14:40 ∫ 16:10		8:50 ∫ 10:20	10:30 ∫ 12:00	13:00 ∫ 14:30	14:40 ∫ 16:10		8:50 ∫ 10:20	10:30 ∫ 12:00	13:00 ∫ 14:30	14:40 ∫ 16:10		8:50 ∫ 10:20	10:30 ∫ 12:00	13:00 ∫ 14:30	14:40 ∫ 16:10		8:50 ∫ 10:20	10:30 ∫ 12:00	13:00 ∫ 14:30	14:40 ∫ 16:10
臨床疫学・医療情報学		臨床薬理学		4	内科		外科		5	内科		整形外科		6	精神神経	小児科	泌尿器科		7	泌尿器科		外科	
				11	外科		内科		12	外科		内科		13	整形外科		小児科		14	小児科	外科	眼科	
				18	産婦人科		内科		19	産婦人科		形成外科		20	産婦人科		脳外科	形成外科	21	産婦人科		形成外科	
				25	心臓血管外科		産婦人科		26	内科		東洋医学		27	東洋医学				28	脳神経外科			
PBLチュートリアル				2	PBLチュートリアル				3	憲法記念日				4	国民の休日				5	こどもの日			
				9					10	11	12												
				16					17	18	19												
				23					24	25	26												
				30					31	1	2												
				6					7	8	9												
				13					14	15	16												
				20					21	22	23												
PBL(予備)		総合病理学(CPC)		27	PBL(予備)		総合病理学(CPC)		28	PBL(予備)		総合病理学(CPC)		29	PBL(予備)				30	臨床実習オリエンテーション		PBL(予備)	
臨床実習		海の日		4	臨床実習				5	臨床実習				6	臨床実習				7	臨床実習			
11	12			13					14														
18	19			20					21														
臨床実習		夏季休業		25	夏季休業				26	夏季休業				27	夏季休業				28	夏季休業			
1	2			3					4														
8	9			10					11														
15	16			17					18														
臨床実習		敬老の日		22	臨床実習				23	臨床実習				24	臨床実習				25	臨床実習			
				29					30					31					1				
				5					6					7					8				
				12					13					14					15				
				19					20					21					22				
臨床実習				26	臨床実習				27	臨床実習				28	臨床実習				29	臨床実習			
26	27			28					29														

臨床疫学・医療情報学

責任者 大園 恵幸

(総合診療学)

内線：2991 E-Mail：oozono@net

責任者 本多 正幸

(医療情報部)

内線：2781 E-Mail：m-honda@net

1. 教育目標・方針

- ・臨床の現場では、患者に対し最適で最良の医療を提供するため Evidence に基づいた臨床判断を下すことが重要である。そのために必要な基本的臨床疫学の知識と Evidenced Based Medicine(EBM)の実践法の授業を行う。
- ・医療分野における IT 化に向けた政府や厚生労働省の動向、病院情報システムや地域医療情報システムの実際とその問題点を把握し、病院における患者データの管理や研究支援に関してその方法を理解する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

- ・臨床疫学に必要な統計学、EBM の実際（臨床上の問題点の抽出、情報の収集、批判的吟味、患者への適用）についての講義及び演習
- ・医療情報システム、病院情報システム、広域医療情報ネットワーク、システム運用、患者データベース、データの再利用（統計解析）などに関する講義

3. 教科書、参考書等

書名	著名	出版社	定価
EBM 実践ワークブックより良い治療を目指してー	名郷直樹	南江堂	3000 円

4. 評価法

出席およびレポート

5. 教員名

大園恵幸、竹島史直、本多正幸、松本武浩

臨床疫学・医療情報学授業予定（5年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	3	月	1	医療情報学	医療情報システム概要と病院情報システム	医療情報部・ 本多正幸	臨2
			2	医療情報学	電子カルテと地域医療連携システム	医療情報部・ 松本武浩	臨2
4	10	月	1	医療情報学	システム運用と患者データベース	医療情報部・ 本多正幸	臨2
			2	医療情報学	データの再利用（統計解析）	医療情報部・ 本多正幸	臨2
4	17	月	1	臨床疫学	臨床に必要な統計学	総合診療科・ 大園恵幸	臨2
			2	臨床疫学	E B Mの実践 患者問題の定式化	総合診療科・ 大園恵幸	臨2
4	24	月	1	臨床疫学	E B Mの実際のための 情報収集法	総合診療科・ 大園恵幸 竹島史直	臨2
			2	臨床疫学	E B Mの患者への適用	総合診療科・ 大園恵幸 竹島史直	臨2

臨床薬理学

責任者 佐々木均
薬剤部（臨床薬物動態学）
内線：2170 E-mail: sasaki@net

1. 教育目標・方針

臨床で薬物治療を実施する場合、薬剤の体内動態を合理的に予測し、病態に影響する各種要因や、最新の相互作用・副作用の情報を考慮し、適正な製剤を選択し、総合的な投与計画を設計する必要がある。この講義では、薬物投与設計のための薬物速度論を理解し、相互作用や製剤の基礎知識を深め、実際に臨床で応用できる能力を身に付ける。

2. 授業内容（講義・実習項目）

薬物の臨床使用を想定した繰り返し投与、点滴投与、経口投与などの薬物速度論を講義する。さらに、薬物投与設計のための投与量、投与間隔、投与方法などの理論を学び、実際の薬物について、自分で投与設計を行う。また、Therapeutic Drug Monitoringの奨励をもとに影響因子を考察する。さらに、処方設計の考え方、薬物相互作用の基礎知識、新規製剤の知識、特定薬剤治療管理料を算定できる薬剤の詳細について講義する。

3. 教科書、参考書等 必要に応じて資料配布

書名	著者	出版社	定価

4. 評価法

レポート提出と授業への参加状況を考慮して判定する。

5. 教員名

大学病院薬剤部 佐々木均、藤秀人

臨床特論(臨床薬理) 授業予定 (5年前期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	3	月	3	薬物動態	薬物の体内動態の原理と影響する各種要因について講義。	薬剤部・佐々木	臨2
			4	薬物速度論1	静脈注射、経口投与、点滴注射などの基礎理論を講義。	薬剤部・佐々木	臨2
4	10	月	3	薬物速度論2	繰り返し投与、薬物蓄積、処方設計の基礎理論を講義。	薬剤部・佐々木	臨2
			4	薬物濃度測定の実際	薬物濃度の測定原理、測定するときの留意点、影響因子に関して講義。	薬剤部・佐々木	臨2
4	17	月	3	相互作用	薬物の製剤学的、生物薬剤学的、薬理学的な相互作用について講義。	薬剤部・佐々木	臨2
			4	製剤・DDS	薬物の速度論に基づいた新規製剤に関する講義。	薬剤部・藤	臨2
4	24	月	3	処方設計	処方箋の法的意義。処方設計における注意点などの講義。	薬剤部・藤	臨2
			4	適正処方	Therapeutic Drug Monitoringや院内製剤の事例から適正処方の講義。	薬剤部・藤	臨2

内科総括講義

責任者 江口 勝美
内科学第一（免疫内分泌代謝病態制御学）
内線：2800 E-mail:eguchi@net.

1. 教育目標・方針

疾患の病因・病態を含め基礎知識から最新の知識まで教育する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義主体（スライド、プリント、ビデオなど使用）

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
内科学実習のための主訴よりみた 内科疾患の診断	原耕平、長瀧重信 監修	医薬ジャーナル	4,800 円
図説病態内科学講座 消化管－2	藤野雅之 他	メディカルビュー	20,600 円

4. 評価法

卒業試験に含める。

5. 教員名

第一内科：中尾一彦、本村政勝、山崎浩則、川上 純

第二内科：河野 茂、水田陽平

第三内科：矢野捷介

原研内科：朝長万左男、塚崎邦弘、宮崎泰司

熱研内科：有吉紅也

非常勤：宮崎正信

内科総括講義予定（5年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	4	火	1	消化器	肝細胞癌の診断と治療	内科1・中尾一彦	臨2
			2	神経	神経難病の現状と今後	内科1・本村政勝	
4	5	水	1		全身疾患と腎臓	非常勤・宮崎正信	臨2
			2		炎症性腸疾患の臨床	2内・水田陽平	
4	11	火	3	代謝	内臓脂肪蓄積のサイエンス	内科1・山崎浩則	臨2
			4	膠原病	関節リウマチの診断と治療の進歩	内科1・川上 純	
4	12	水	3		肺癌と間質性肺疾患	2内・河野 茂	臨2
			4	循環器	虚血性心疾患	3内・矢野捷介	
4	18	火	3	血液	貧血の鑑別と治療	原内・朝長万左男	臨2
			4	血液	悪性リンパ腫の臨床	原内・塚崎邦弘	
4	26	水	1	血液	白血病の臨床	原内・宮崎泰司	臨2
			2	感染症	全身感染症	熱内・有吉紅也	

精神神経科総括講義

責任者 小澤 寛樹
精神神経学 (精神病態制御学)
内線：2865 E-mail:ozawa07@net.

1. 教育目標・方針

「精神系」など精神神経科学関連の先行講義や実習で学んだことについての統合的理解や、そこで充分ではなかった点を学ぶことを目的とする。

2. 授業内容（講義・実習項目）

上記目標にそって精神障害の理解にとって重要な幾つかの側面の講義を行う。

3. 教科書、参考書等

特に指定しない。

4. 評価法

筆記試験（「精神科」の卒業試験に含めて行う）

5. 教員名

精神神経科：小澤寛樹

精神神経科総括講義予定（5年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	6	木	1	精神系のまとめ	定期試験の解説を中心に	小澤寛樹	臨2

小 児 科 総 括 講 義

責任者 森 内 浩 幸
小児科学（小児病態制御学）
内線：2883 E-mail:hiromori@net.

1. 教育目標・方針

小児科総括講義では、これまでに各系で小児の生理・病理について学んできた断片的知識を補充しかつ総括する事を目標とする。加えて、病室実習に入る準備としての診断学や症候学的なアプローチ、さらにはプライマリー・ケアの上での必須事項を概説していく。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義は5年次前期4回で、実習は行わない。

3. 教科書、参考書等

特に指定しない。必要な資料は適宜配布または紹介する。

4. 評価法

実習および卒業試験の評価に加える。

5. 教官名

小児科：森内浩幸
救急部：中嶋一寿
非常勤講師：福田雅文（みさかえの園）

小児科総括講義予定（5年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
4	6	木	2	小児救急医学	傷害・事故・中毒	救急部・中嶋	臨2
4	13	木	3	親子関係の障害	虐待・ネグレクト	非常勤・福田	臨2
4	13	木	4	小児プライマリーケア	あなたならどうする？（1）	小児科・森内	臨2
4	14	金	1	小児プライマリーケア	あなたならどうする？（2）	小児科・森内	臨2

外科総括講義

責任者 兼 松 隆 之
移植・消化器外科学
内線：2920 E-mail:kanematu@net.

1. 教育目標・方針

外科総括講義では臨床症例を中心に実際の診断・治療面を重視した教育を中心に行う。

2. 授業内容（講義・実習項目）

各疾患についてプリント資料、スライドおよび術式についてはビデオも用いながら診断と治療とくに手術適応、術式、術前・術後管理を中心に総括的な講義を行う。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
標準外科学, 10版	監修：小柳 仁	医学書院	8,925 円
Principles of Surgery, 7th ed.	Schwartz S. I.	McGraw-Hill	19,788 円
Textbook of Surgery, 17 th ed.	Sabiston D. C.	Saunders	17,017 円

4. 評価法 卒業試験に含める。

5. 教官名

移植・消化器外科：兼松隆之、坂田隆造（鹿児島大学医学部）、前田茂人、藤田文彦
腫瘍外科：永安 武、安武 亨、大島雅之、七島篤志

外科総括講義予定（5年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員		教室
4	4	火	3	消化器外科	食道癌・胃癌	腫瘍外科	安武 亨	臨 2
			4	循環器外科	心・血管疾患	非常勤	坂田隆造	
4	7	金	3	内分泌外科	甲状腺・乳腺疾患	移植・消化器外科	前田茂人	臨 2
			4	小児外科	新生児外科の疾患	腫瘍外科	大島雅之	
4	11	火	1	消化器外科	下部消化管外科	移植・消化器外科	藤田文彦	臨 2
			2	消化器外科	肝臓外科	移植・消化器外科	兼松隆之	
4	12	水	1	消化器外科	胆道癌・膵癌	腫瘍外科	七島篤志	臨 2
			2	呼吸器外科	肺癌	腫瘍外科	永安 武	
4	14	金	2	呼吸器外科	肺良性疾患・縦隔疾患	腫瘍外科	永安 武	臨 2

整形外科総括講義

責任者 進 藤 裕 幸
整形外科学 (構造病態整形外科学)
内線 : 2940 E-mail : shindo@net.

1. 2. 教育目標・方針と授業内容

整形外科学は運動器、すなわち四肢躯幹の疾患を研究・治療の対象とする臨床医学である。したがって運動器の変形と機能障害を取り扱う学問である。そこには炎症、変性、腫瘍、外傷、先天異常、代謝疾患、血行障害など数多くの疾患がある。これらの疾患を理解するためには骨・関節系統のみならず神経・筋系統の広範な領域にわたる正常の機能を把握する必要がある。またこれらの疾患の治療目的は生命の維持と疾患の予防ならびに機能確保・機能再建である。

学生諸君には運動器疾患の基礎として骨・関節・筋・神経の生理・代謝・構造の理解を求める。次に種々の検査法を含めた診断学、さらに治療学の概略ならびに各部位別の疾患とその治療法につき理解を求める。また急性疾患では適切な救急処置が出来るよう教育する。

教室の教官ならびに関連病院の非常勤講師により授業を行う。授業では各部位別に特徴的疾患の患者を紹介しその関連疾患を講義する。講義はスライドとプリントを併用して行うが学生には教科書・参考書の購入を奨める。さらには講義に関連のある基礎的研究の紹介を行い、学生に研究の重要性を啓蒙する。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
標準整形外科学	広畑 和志	医学書院	8,700 円
整形外科サブノート	東 博彦	南江堂	5,500 円
神中整形外科学	天児 民和	南山堂	50,000 円
整形外科クルズス	二宮 節夫	南江堂	20,000 円

4. 評価法

筆記試験 (卒業試験に含める)

5. 教員名

非常勤講師 : 野口雅夫 (北九州市立八幡病院)、菅尚義 (菅整形外科病院)

小西宏昭 (長崎労災病院)

整形外科 : 尾崎誠

整形外科総括講義予定（5年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	5	水	3	外傷学	運動器外傷のポイント	整形外科・野口	臨2
			4	労働災害	労働災害の歴史と医療	整形外科・小西	臨2
4	13	木	1	脊椎	脊椎・脊髄疾患のポイント	整形外科・菅	臨2
			2	関節	関節外科のポイント	整形外科・尾崎	臨2

泌尿器科総括講義

責任者 金 武 洋
泌尿器科学 (腎泌尿器病態学)
内線：2980 E-mail: hk1853@net.

1. 教育目標・方針

総論・各論で得た知識を更に発展させ、患者に応用できるようにする。

2. 授業内容 (講義・実習項目)

症状に対して、疾患を考え、その診断に必要な検査を想定し、確定診断が得られたら治療方針をたてる。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
新泌尿器科学 第4版	内藤誠二	南山堂	8,700 円
標準泌尿器科学 第6版	小磯謙吉 監修	医学書院	6,500 円
NEW 泌尿器科学	西沢 理、松田公志 編集	南江堂	6,300 円
ベッドサイド泌尿器科学、第3版	吉田 修 編集	南江堂	38,000 円

4. 評価法

卒業試験に含める。

5. 教員名

泌尿器科学：金武 洋、野俣浩一郎、酒井英樹、錦戸雅春

泌尿器科総括講義予定 (5年前期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	6	木	3	泌尿器疾患 (前立腺)	前立腺疾患	泌尿器科・金武	臨2
			4	泌尿器疾患 (尿路上皮)	尿路結石、尿路上皮腫瘍	泌尿器科・野俣	臨2
4	7	金	1	泌尿器疾患 (副腎)	副腎疾患 (原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫)	泌尿器科・酒井	臨2
			2	泌尿器疾患 (腎)	腎腫瘍、腎不全外科	泌尿器科・錦戸	臨2

眼科総括講義

責任者 北岡 隆
眼科学（眼科・視覚科学）
内線：3000 E-mail: tkitaoka@net.

1. 教育目標・方針

主要眼科疾患の最新の知識、治療および重要な基礎を学ばせる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

系統講義の知識に基づいて、各自に深く考えさせる。

4. 評価法

卒業試験に含める。

5. 教員名

眼科：北岡 隆、山田浩喜

非常勤講師：嵩 義則（ダケ眼科クリニック）、脇山はるみ（原爆日赤）、

眼科総括講義予定（5年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	14	金	3	眼底造影検査	最新の造影検査法とその正常所見、異常所見	脇山はるみ	臨2
			4	緑内障	最近の緑内障の概念	嵩 義則	臨2

産婦人科総括講義

責任者
生殖病態生理学（産婦人科）
内線：3063 Email：

1. 2. 教育目標・方針と授業内容

産婦人科の総括講義では、生殖系の中での産婦人科学各論の中より重要項目を選び、それについてより詳細な講義を行う。また症候別、病因論別、治療法別に周産期疾患、腫瘍および生殖内分泌疾患を分類し、系統的に疾患を整理し、理解させる。

実際の講義担当者は各々の分野の専門家であり、時には現在行っているその分野での研究成績を解説しながら、未だ明らかにされていない事項にも触れる。

講義はプリントやスライドを使用し、更に時にはビデオを利用して行う。

特定の教科書を使用するわけではないが授業内容の理解を深める為に参考書の購入を奨める。

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
NEW産婦人科学	矢嶋 聡 他	南江堂	9,500 円
標準産科婦人科学	丸尾 猛/岡井 崇	医学書院	8,610 円
臨床産科超音波診断	増崎英明	メディカ出版	4,700 円

4. 評価法 卒業試験に含める（筆記）。

5. 教員名

産婦人科：増崎英明、三浦清徳、小寺宏平、吉田 敦
非常勤講師：安日一郎（国立病院 長崎医療センター）
河野雅洋（田中クリニック）

産婦人科総括講義予定（5年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	18	火	1	婦人科悪性腫瘍	症状・診断・進行期・治療・予後	産婦人科・小寺・増崎	臨2
			2	月経異常	月経異常の系統的診断・治療	非常勤	臨2
4	19	水	1	正常胎児	正常胎児の超音波診断	産婦人科・増崎	臨2
			2	胎児異常	胎児異常（奇形を含む）の超音波診	産婦人科・増崎	臨2
4	20	木	1	胎児仮死	分娩監視装置の見方	非常勤・安日	臨2
			2	糖尿病	妊娠糖尿病，糖尿病合併妊娠	非常勤・安日	臨2
4	21	金	1	分娩異常	遷延分娩，陣痛異常，CPD	産婦人科・吉田・増崎	臨2
			2	妊娠合併症	症例から学ぶ妊娠合併症	産婦人科・三浦	臨2
4	25	火	3	不育症	習慣流産，不育症	非常勤・河野	臨2
			4	排卵障害	PCO，排卵誘発，OHSS	非常勤・河野	臨2

脳神経外科総括講義

責任者 永田 泉
脳神経外科学（神経病態制御学）
内線：3100
E-mail: inagata@net.nagasaki-u.ac.jp

1. 教育目標・方針

とくに日常臨床の場で頻繁に遭遇する脳神経外科領域の疾患を中心に、臨床医としての基本的な知識の習得を目標とする。

2. 授業内容（講義・実習項目）

各疾患の病態を把握することを目的に、プリント、スライド、ビデオなどを用い、なるべく多くの症例を提示し、診断、治療さらに手術適応などについて講義を行う。

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
脳神経外科学 9版	太田富雄（編著）	金芳堂	29,400 円
標準脳神経外科学 9版	山浦 晶（編集）	医学書院	7,350 円
チャート 医師国家試験対策（13） 脳神経外科 第3版	伊東 洋（編集）	医学評論社	4,410 円
ニュースタンダード 脳神経外科学	生塩之敬（編集）	三輪書店	7,350 円

4. 評価法

卒業試験に含める。（筆記式試験による）

5. 教員名

脳神経外科：永田 泉、堤 圭介、北川直毅、松尾孝之、牛島隆二郎
非常勤講師：馬場啓至、徳永能治

脳神経外科総括講義予定（5年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	20	木	3	総論 脳腫瘍 I	脳外科概論 脳腫瘍の分類と診断	非常勤・徳永	臨 2
4	28	金	1	脳腫瘍 II	脳腫瘍各論	脳外科・松尾	臨 2
			2	脊椎・脊髄外科	脊椎、脊髄外科	脳外科・堤	臨 2
			3	脳血管障害 I	虚血性脳血管障害	脳外科・永田	臨 2
			4	機能的脳神経外科	てんかんの外科治療 不随意運動の外科治療	非常勤・馬場	臨 2
5	2	火	3	脳血管障害 II	出血性脳血管障害 血管内手術	脳外科・北川	臨 2
			4	小児・神経外傷	先天奇形 頭部外傷の診断と治療	脳外科・牛島	臨 2

形成外科総括講義

責任者 平野 明喜
形成外科学（構造病態形成外科学）
内線：2953 E-mail:akiyoshi@net.

1. 教育目標・方針

形成外科学は先天性および後天性の身体外表の形態の変化に基づく、機能的・形態的異常を対象とする。

これらを外科的手技により、正常に近いものに再建し、患者の社会的適応を容易にすることを目的とした外科であり、このような対象疾患に対する認識とその治療に対する理解を求める。

2. 授業内容

4年次の皮膚系・運動系・小児系で講義した形成外科の主として総論的な内容に加えて、各種再建外科・皮膚形成外科・頭蓋顎顔面外科など形成外科治療に関する講義を行う。

3. 教科書、参考書等

必要に応じてプリントを配布する。

書名	著者	出版社	定価
標準形成外科学 第4版 TEXT 形成外科学 第2版	鬼塚卓彌 監修 波利井清紀 監修	医学書院 南山堂	6,800 円 6,300 円

4. 評価法

卒業試験（筆記試験）に含める。尚、出欠状況も加味される。

5. 教員名

形成外科：平野明喜、田中克己、矢野浩規、秋田定伯、安楽邦昭

形成外科総括講義予定（5年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	19	水	3	顔面外傷の治療	顔面軟部組織損傷と顔面骨骨折の治療	平野	臨2
4	19	水	4	顔面先天異常および後天性変形の治療	唇裂、耳・眼瞼、頭蓋顎顔面の変形・顎変形の治療	矢野	臨2
4	20	木	4	皮膚腫瘍と皮膚形成	植皮、各種皮弁、母斑・血管腫の治療、皮膚腫瘍	秋田	臨2
4	21	金	3	皮膚潰瘍・褥瘡と皮膚再建外科	皮膚潰瘍・褥瘡の予防と治療	田中	臨2
4	21	金	4	手の外科と再建外科	手の先天異常と外傷の治療、マイクロサージェリーによる再建外科	安楽	臨2

心 臓 血 管 外 科 総 括 講 義

責任者 江 石 清 行
心臓血管外科学（循環病態制御外科学）
内線：2911 E-mail:keishi@net.

1. 教育目標・方針

将来一般医になる学生にも必要な心臓血管外科の基本的な知識と技能を身につけると同時に、医師としての生き方、心構えを学ぶ。

2. 授業内容（講義・実習項目）

心臓血管外科の日常診療に必要な基本的知識を得ることを目標に、総論・各論にわたる講義を、プリント、スライド、ビデオなどを用いて行い、できるだけ多くの症例提示を交え、外来・病室実習と連携して実践的な学習を行うように心掛ける。

3. 教科書、参考書等

教科書は使用しない。

書 名	著 者	出版社	定 価
Approach Series 心臓脈管疾患		医学評論社	
心臓病・診療プラクティス20、心臓病診療の問題点を考える 現代から未来へ		文光堂	12,000 円
心疾患の診断と治療	新井達太	南江堂	9,500 円
心臓外科チームのための基本手術マニュアル	三石 績	へるす出版	3,800 円
胸部外科学	武内敦郎 編	金芳堂	6,800 円
臨床脈管学	三島好雄 他編	文光堂	15,000 円

4. 評価法

筆記試験。

5. 教官名

非常勤講師：葉玉哲生、濱脇正好

心臓血管外科総括講義予定（5年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	25	火	1	先天性心疾患	ASD. VSD. PDA. PS. TOF. TGA. DORV. CoA. TAPVC. HLH. BWG. 総動脈幹遺残	非常勤 濱脇	臨2
			2	特別講義		非常勤 葉玉	臨2

東 洋 医 学

責任者 丹 羽 正 美
薬理学第一 (神経薬理学)
内線：2170 E-mail:niwa@net.

1. 教育目標・方針

保険適応の医療用薬剤として漢方薬は30年以上の歴史があり、多くの医師が様々な疾患の治療に漢方薬を使用する。日本の漢方薬は、米国など海外でも治療体系に組み込まれ始めている。診療に必要な和漢薬治療の基本、漢方薬の基礎概念を学ぶ。同時に、漢方薬を含めた薬剤反応（薬効）の個人差（多様性）の遺伝子レベルでの理解を深め、より実践的な「薬物療法の論理」を学び、将来臨床の場において「自家薬籠中の薬（P-drug）」を正しく形成する基盤を作ることを目標とする。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義

3. 教科書・参考書等

プリント資料配布

参考書：入門漢方薬 日本東洋医学会学術教育委員会 南江堂
症例から学ぶ和漢診療薬 寺澤捷年 医学書院
この薬の多剤併用副作用 松田重三 医歯薬出版
P-drugマニュアル（WHO）のすすめる医薬品適正使用 WHO 医学書院

4. 評価法

レポート提出と授業への参加状況を考慮して判定する。

5. 教員名

非常勤講師：田代眞一（昭和薬科大学）、三瀧忠道（麻生飯塚病院東洋医学センター）、
前村俊一（ツムラ薬理研究所）、内田隆一、森淳躬
薬理学第一：田中邦彦

臨床特論（東洋医学）授業予定（5年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	26	水	3	漢方薬Ⅰ	漢方医学の基礎概念	三瀧 忠道	臨2
4	26	水	4	漢方薬Ⅱ	漢方医学の診断・治療	三瀧 忠道	臨2
4	27	木	1	漢方薬Ⅲ	漢方研究の最前線-基礎と臨床	前村 俊一	臨2
4	27	木	2	漢方薬Ⅳ	漢方薬の臨床 1	内田 隆一	臨2
4	27	木	3	漢方薬Ⅴ	漢方薬はなぜ効くのか	田代 眞一	臨2
4	27	木	4	漢方薬Ⅵ	漢方薬の臨床 2	森 淳躬	臨2

総合病理学

責任者 関根 一郎
原研病理（分子病態解析学）
内線：2330 E-mail：

1. 教育目標・方針

臨床研修制度のなかで、病理解剖症例のCPCレポートが義務づけられている。また、臨床医としての診療の中で、亡くなられた患者さんの剖検の機会があるし、病理解剖の結果を踏まえてのCPC (clinico-pathological conference) の機会も多い。本授業の目的は、学生が与えられた病理剖検症例を通して、CPCを体現し、患者さんの病態を総合的に、解析し最終診断に至る過程を学ぶことである。

2. 授業内容

第一病理、第二病理、原研病理が、各1回ずつ担当する。

授業は、病理解剖症例を用いて、CPC (clinico-pathological conference) 方式で行う。

学生のグループを臨床側と病理側に分ける。

実際の病理解剖症例について、臨床側学生グループが臨床所見や検査データ・画像を解読して、臨床側に立っての臨床診断を行い、さらに問題点を提起する。一方、病理側学生グループは病理解剖所見（肉眼所見・組織所見）を解読して、病理診断をまとめる。

臨床側学生と病理側学生が、お互いに、討論して、総合的にまとめる。

4. 評価法

試験は卒業試験に組み入れられる。試験内容は、国試において出題傾向の高い疾患の肉眼像・組織像から、診断、その他関連事項を問う問題が出題される。

5. 教員名

第1病理：下川 功、樋上賀一

第2病理：田口 尚、重松和人

原研病理：関根一郎、中山敏幸、中島正洋

非常勤：辻 浩一（大分県立病院）

総合病理学授業予定（5年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
6	26	月	3	CPC	CPC（臨床病理カンファレンス）の形式で授業を行う	病理1・下川 樋上	実2
			4	講義	CPCの内容について補足、解説		第1
6	27	火	3	CPC	CPC（臨床病理カンファレンス）の形式で授業を行う	病理2・田口 重松 非常勤・辻	実2
			4	講義	CPCの内容について補足、解説/細胞診		第1
6	28	水	3	CPC	CPC（臨床病理カンファレンス）の形式で授業を行う	原研病理・関根 中山 中島	実2
			4	講義	CPCの内容について補足、解説		

PBLチュートリアル

責任者 小澤 寛樹
精神神経学（精神病態制御学）
内線：2865 E-mail: ozawa07@net.

1. PBLチュートリアルとは

Problem-based learning (PBL)チュートリアルは、5年次の学生に対し臨床系統講義終了後で臨床各科ローテーションが始まる前に、課題探索・自己問題解決能力のトレーニングとして、平成16年度から導入することになった教育方法です。

医学部（医学科）学生はこの時期までは、主に座学により医学的知識の蓄積に努めてきましたが、実際の臨床医療を学ぶためには自主的問題解決型の思考、学習が必要になります。そこで、臨床実習に入る前に、あるテーマに対して調査、討論を重ねて解答、解決法を自ら見出す学習としてPBLチュートリアルを行います。

2. 教育目標

- (1) 与えられた知識の記憶にとどまらず、必要な知識を自ら獲得する方法と習慣を身に付ける。
- (2) 臨床に即した問題解決が行えるよう、病態の基礎医学的理解から診断・治療までを症例に基づいて一貫して学ぶことにより、臨床実習に必要な基本的知識と考え方を習得する。
- (3) グループ学習を通じてコミュニケーション能力を身に付け、チーム医療の基本を学ぶ。

3. 評価法

出席の状況、討論への参加状況をもとに評価する。
さらに、その評価は最終的には臨床実習の評価に含まれる。

4. カリキュラム

ローテーション表及び各科時間割は、別途手引きとして配付する。